

## 道場にて 身を浄め心に戒を刻む



去る8月16日(土)布薩会が9時より本堂にて厳修されました。多くの参拝者が本堂に訪れ、興正寺最古の法会である布薩会の緊張感ある雰囲気の中で懺悔し、戒律を守る事を誓いました。

2014 9月号

発行所

真言宗  
八事山興正寺

<http://www.koushoji.or.jp>  
TEL052-832-2801  
FAX052-832-8383

2609号  
毎月末日発行

### 今月の特集

- ☆ 寺通「本堂参拝編」……………3ページ
- ☆ 秋のお彼岸ガイド……………4ページ
- ☆ 縁日さんぽ「毎月28日・不動明王」…14ページ

## 杜のコラム

台風が通り過ぎたら、たちまち秋になる。まず、空の色が違つて見える。抜けるような青が、まるで宇宙の果てまで続くかのようだ。

空が海の色を映しているのか、海が空の色を映したのか。水平線のかなたに目をやると、空と海がそのまま合体しているかのような錯覚に陥る。

四季の移ろいがはつきりと分かるこの国だからこそ、その幸せを感じる時間もある。いかに社会に凶悪な事件があり、理不尽なことが増えようと、この時間、この景色だけ

九月八日は旧八月十五日でいわゆる十五夜。かつて、月は人間の命と密接に結びついていると考えられていた。潮の満ち引きで命が呼応するならば、その波と共に鳴るのは月の鼓動。なるほど、人間の臓器には「月」の文字がよく使われるわけだ。

足元に目線を移すと、萩の花が咲く。夏の終わりを告げるかのように優しくゆれるのは彼岸花。

**平成大仏入仏式 平成26年9月6日(土)~8日(月)**



(森田)

平成二十六年九月六日(土)

「入仏鎮座式」十三時より  
細曳き受付 十二時より

(受付順混雑時はお待ちいただく事がございます)

平成二十六年九月七日(日)

「入仏献茶式」十時より  
「百味供法要」十一時より

平成二十六年九月八日(月)

「観月会」十八時三十分／二十時

※当日お席のご用意はございません。  
中門前パブリックビューイング(大型画面)で  
お愉しみいただけます(立ち見)。

一〇〇年先の未来へ

## 平成大仏入仏式

八事山興正寺 天瑞圓照

真享三年(一六八六)全国で修行を重ねた天瑞圓照和尚が、八事の地に草庵を結んだことを起源とする興正寺。ご本尊の大日如来は、時の尾張藩主、徳川光友公の発願により、元禄十年(一六九七)に開眼しました。街道しかなかつたこの地にまちが生まれ、文化五年(一八〇八)に五重塔が完成した際には多くの人々が参拝に訪れ、名古屋の城下町が静かになるほどなったと伝えられています。

廢仏毀釈の嵐にさらされた明治時代も乗り越え、當寺は学問・修行の寺、信仰の寺として変わらず皆様をお迎えしてまいりました。創建より三百余年を経た現在、社会情勢はもちろん、人々の価値観も大きく変化しています。

諸人が集い、心のよりどころとなるのが寺の大きな役割の一つです。その務めを全うするため、今の世の中に寄り添うにはどう在るべきかを探索し続けてまいりました。

『平成大仏』は、岡山天瑞圓照和尚が戒律を守る規範として奉安して貯めた御仏

の掛軸。

宝物庫に収められていたこの尊像を現在に再現する總高七・一メートルのお姿こそ、平成大仏・秋迦牟尼大仏です。千年変わらぬ姿で、私たちや未来の子孫まで見守りお導きいたたくよう、素材には銅製の鋳造を採用。日本でも有数の伝統工芸鋳物の街富山県高岡市の鋳造所により命が吹き込まれ、平成二十六年九月六日に、いよいよ興正寺に入仏されます。

### 百味供法要「百味の膳」お供えのご案内

この勝縁の機、「百味の膳」ご志納を受け付けいたします。ご志納くださった皆様方の御芳名は、当日「百味の膳」と共に大仏さまの御前にお供えいたします。

合掌

「百味の膳」  
ご志納  
一口  
金 三,000円

●興正寺受付にてお申し込みください。

### 特別朱印授与



平成大仏 紺紙金泥特別朱印を授与いたします。紺紙金泥は写経や仏画に多くみられ、持つだけでご利益があると言われています。一、〇〇〇円  
※各日限定100枚



仏様は香食と言つて香りを召し上がります。その他にもその香りで周りを莊厳し身体を清浄にしてくれますのでお参りの際はこちらも点ける様にしてください。  
ここで言う『莊嚴』とは、仏語で仏像やお堂を美しく嚴かに飾り智恵や福德で仏様の身を飾ることを言います。

一、仏様にお供えをしましよう。  
一言にお供えと言つてもたくさんの方があります。  
供物や蠟燭と線香、お賽銭もお供えになります。  
まず本堂に着きましたら蠟燭立てを探しましょう。本堂正面にありますので蠟燭を  
上から灯します。

今回は「本堂参拝組」さつそくいつてみましょう



高野正清

二、本堂を参拝する。

手を合わせる時には脱帽し数珠を持参した場合はこの時に左手に掛けてください。一揖し、お賽錢を納めて鰐口や鳴り物があれば鳴らします。姿勢を正して胸の前で合唱をして一礼、そしてもう一度一揖をします。ここでいう「揖」というのは浅いお辞儀です。お堂におられる仏様の御真言や名号をお唱えしてみましょう。唱える言葉が掲示されていない場合近くの僧侶にお尋ねください。その他に納経として読経をする場合は般若心経が一般的です。なお、経を暗記している場合でも経本を手にして読むのが一番丁寧な作法となります。



ツウの細道

お賽銭の金額について尋ねられることがあります。

最後に  
・お賽銭  
こさい

最後に  
・お賽銭  
こさい

ま け

お願  
せん。

頼い料」では

本來お寺にお参りをするとい  
う行為は、今までの生活や家族の  
幸せを感じる為であるということ  
を忘れないでください。もちら  
ん仏様に心から願いを伝える  
ことは大切だと思います。しかし  
まずは普段からの生活に対する  
感謝の気持ちを捧げ、その上で  
願いを伝える事がより大切なこと  
だと思います。

お賽銭の金額に決まりはありません。ご自身が無理のない程度でお供えください。

これからも気持ちよくお参  
していただきますように。

拿

# おみやげに いこみやあ

season2

## 秋のお彼岸ガイド

六種供養

残暑厳しい日が続きますが、

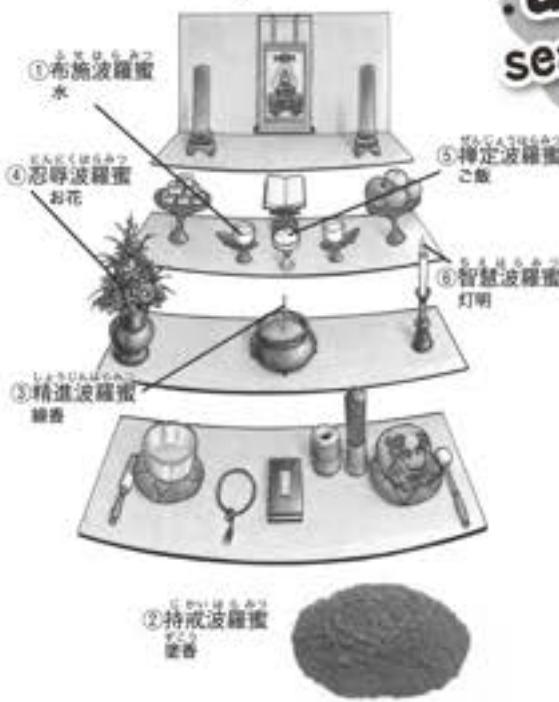
春分・秋分の日を挟んだ7日間です。  
「暑さ 寒さも彼岸まで」という  
言葉があるように、  
季節の移行期間でもありますね。

お彼岸とは？

さて彼岸は正式には到彼岸といいます。サンスクリット語の「バラミター」(漢字ではご存知「波羅蜜多」です!)が語源で、悟りの世界へ渡ることを意味します。お彼岸は彼の岸<sup>ほとし</sup>に仏さまの悟りの世界へと至るための修業の一週間でもあるわけです。

その悟りの世界へ渡るための心得が「六波羅蜜」！ 布施・持戒・精進・忍辱・禪定、智慧の六つを実践することです。言葉だけ聞くと難しそうですが、実は丁寧にお仏壇・お墓参りすることで実践できちゃうんですよ！ これを「六種供養」といいます。

① 布施	② 持戒	③ 精進	④ 忍辱	⑤ 禅定	⑥ 智慧
人に分け与える 人のために惜しみなく善い事をする。 欲のない清らかな心での行いを施す といいます。	戒律を守る 自分勝手な振る舞いを慎み、互いに相手のことを考えながら、譲りあつていく生き方です。	絶え間なく努力する 最善を尽くして努力すること。良い結果が得られてもおごらず、向上心を持ち継続する事です。	苦難にも耐えぬく 物事の本質を見据え、悲しい事や辛い事、生きていく上での困難に耐える姿勢です。	心を乱さず、自分自身を見つめる 心を落ち着かせて動揺しないこと。どんな場面でも心を平静に保ち、専念気に流れされることです。	物事をかたよりなく、正しく見据える 真理を見極め、真実の認識力を得ること。人は誰でも生まれながらにして仏さまと同様の心を持つっています。
お水	塗香	線香	お花	ご飯	灯明
↓	↓	↓	↑	↑	↑



200

お水にはものを平等に生かす力があります。これによつてあらゆるものに等しく施すことを意味しています。

2  
塗香

粉末にして香りのよいお香のこと。塗香を塗ることで心身を清めると共に、戒律を身に纏うという強い意志を表します。

④  
お花

**④お花**  
厳しい寒さ・暑さの中でも、花は文句を言うことなく耐え蓄つばみを開かせます。美しく咲いた花を見て、怒らない・カツとしない心も同時に養いましょう。

⑤

食事は人に幸福感を与え、良い心を起こします。空腹では怒りっぽくなるのが人間の心、大人でも赤ちゃんでも同じです。

⑥ 灯明(ロウソク)

暗闇の中で灯がともると、ほっとしますね。不安と恐怖で満ちた心の闇を照らしてくれるのは仏さまの智慧の光であり、私たちの中にある仏さまの教えなのです。

暗闇の中

お彼岸で丁寧にお仏壇やお墓にお参りをする「こと」とは、祖先を敬う気持ちの実践です。同時に、「六種供養」から「六波羅蜜」の心構えを学び、仏さまの悟りの世界へ近づくための修行でもあるわけです。

卷之三

六種供養、これならできるかも!と思つていただけたなら嬉しいです。

## 秋季お彼岸のご案内

【本堂】永代納骨・墓地・靈龕堂・法羅陀淨苑

日 時間	20日(土)	21日(日)	22日(月)	23日(火) お中日	24日(水)	25日(木)	26日(金)
8時	○	○	○	○	○	○	○
11時		○	○		○	○	○
13時	○	○	○	○	○	○	○
16時	○	○	○	○	○	○	○

【圓照堂】

日 時間	20日(土)	21日(日)	22日(月)	23日(火) お中日	24日(水)	25日(木)	26日(金)
8時	○	○	○	○	○	○	○
10時	○	○	○	○	○	○	○
11時	○	○	○	○	○	○	○
14時	○	○	○	○	○	○	○
15時	○	○	○	○	○	○	○
16時	○	○	○	○	○	○	○

は混雑する時間帯です

はお受けできません

\*21日はマルシェのため駐車場が込み合います。公共交通機関をご利用ください。

興正寺では秋分の日(お中日)を挟む一週間を秋彼岸の期間として、ご先祖様や亡き御魂への供養会を厳修します。家族が毎日を恙なく暮らしていることを故人に報告し、感謝の気持ちを込めて心静かに手を合わせましょう。

本堂・圓照堂ともに事前予約承ります。

9月20日(土)～26日(金)

## 彼岸合同供養会

### 土砂加持法会

9月23日(火・祝) 14時より本堂にて

「土砂加持法会」は真言宗の数ある法会の中でも最高の秘法とされています。「不空羂索經」によりますと、墓や墓地内のあらゆるものに散すればたちまちに故人の生前罪業を除き、いかなる御靈も速やかに成仏する、と記されております。是非お参りされ、お帰りの際はお土砂をお求めいただいて、お墓に撒いてあげてくださいね。



土砂加持守り  
お守りとして  
受付でも授与して  
おります。

◇9月23日(火・祝)  
永代祠堂紐解法会

11時より本堂にて

◆9月20日(土)  
特別永代祠堂法会  
靈龕堂慰靈法会  
法羅陀淨苑慰靈法会  
11時より本堂  
14時より普照殿・華宮  
15時より本堂

一口、三千円  
ご案内  
奉納おはぎの  
ください。  
受付にてお申し込み

大切にしていた品、心を込めて使われた品には古来より心が宿るといわれています。小さい頃によく遊んだぬいぐるみ・真心を込めて作ったお人形・お仏壇や仏具。家族の一員として共に暮らし、私たちを見守つてくれた思い出の品々に感謝の気持ちをお伝えし、ご供養しましょう。



9月23日(火・祝)13時より  
参道にて

### 人形・仏具慰靈法会

寺

宝

通

心

## その十七「興正寺宝物のこれから」

平成三十年（二〇一八）に開山天瑞圓照和尚の三百回忌を迎える興正寺の創建の歴史は、これまでの八事山文庫でも触れてきたかと思います。天瑞和尚の志高い信仰に感銘した尾張徳川家二代藩主・光友公が、貞享五年（一六八八）に僧侶の修行と戒律を授けるための寺として「八事山遍照院興正律寺」の建立を許し、「尾張徳川家の祈願所」として三三〇年あまりの歴史を持つことは、もはや周知の事実と言つても過言ではありません。

しかし、尾張徳川家の寄進の品々や名古屋城二の丸の襖絵、明治から昭和に活躍した文化人の石碑や掛軸など、江戸期から昭和期にかけての寺院やその周辺地域の歴史文化を研究する上で貴重な品が数多く残っていることを知る人は、思ひのほか少ないのでしょうか。

興正寺には、現在、国重要文化財の五重塔や東山本堂（奥ノ院）、西山観音堂、能満堂、女人門などの江戸時代の建造物、市指定有形文化財の総本尊大日如来をはじめとする約四百体の仏像・石仏、古文書や経典約一万二千点、掛軸約千幅、法具や漆器などの什器約二百点、宝篋印塔及び石碑五百基などがあります。こうした宝物は、興正寺開山・天瑞和尚と光友公、西山で浄土信仰を広めた学僧五世・諦忍和尚と尾張徳川家七代藩主・宗春公、五重塔を建立した七世・真隆和尚と城下の人々、名古屋の文化人に慕われていた十四世・覚玄和尚といった歴代住職と興正寺を支えた人々によって作られ、守り伝えられてきました。

こうした宝物の中に  
は、虫食いによつて読め  
なくなつてしまつた古  
文書、バラバラになつた  
仏像など一見して世間  
一般の方が宝物かわから  
ないものも含まれて  
います。しかし、私たち  
寺内の者からすると、た  
だの古いものではなく、  
興正寺の歴史を伝える  
大切な寺の宝（寺宝）の  
一つなのです。これから  
も、興正寺の宝物は守り  
伝えられ、代を重ねる毎  
に数を増やし、残されて  
いくことでしょう。そし  
てこれから歴史も、歴  
代住職と同様に檀信徒  
の皆様と共に伝えてい  
きたいと願っています。

(山本)

### 展示のご案内

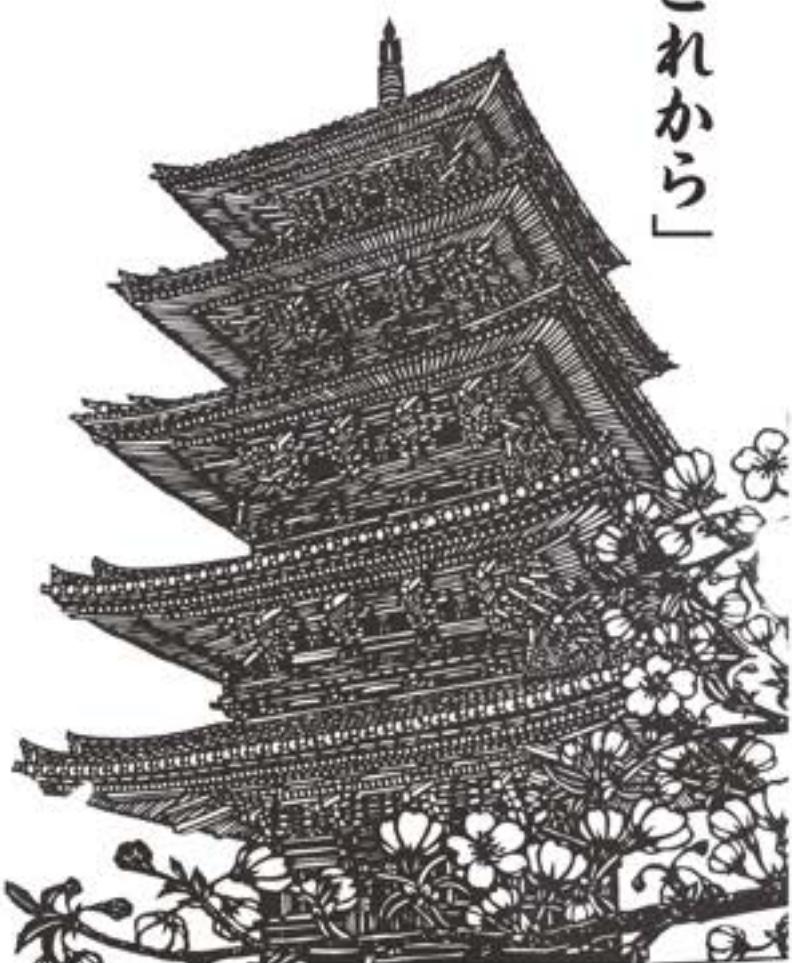
## 平成大仏御入仏記念企画展 「子ども書道展」

会期 9月5日(金)~8日(月)  
会場 エスカレーター前回廊  
拝観料 無料

# 大師展

弘法大師から  
天瑞和尚へ

会期 9月6日(土)~8日(月)  
会場 普照殿玄関ホール特設会場  
拝観料 300円



# 竹翠亭襖絵保存・制作事業

## 襖絵一部特別公開

### 山田大作先生と江戸時代の名僧仙崖

平成二十六年一月二日、一本の筆先にすべての人の視線が集中していました。純白の襖に一本のしなやかな線が走っていました。呼吸するのも憚られるような静寂の中で生まれたのが竹翠亭玄関脇の襖絵です。

江戸時代の「墨竹」の名手仙崖の言葉が浮かびました。「竹画有法是何法仏言法本法無法」(竹の描法には決まりがあるというが、本物の法とは決まつた形を知らないものだ)。山田大作先生の「無節」の竹の中に本物の竹を見せていただいだことは感動の極みでした。

### 山田大作先生と興正寺開山天瑞和尚

あれから七ヶ月。ついに平成生まれの天瑞和尚にお会いできました。

天瑞和尚は、貞享元年(一六八四)大島山元真律師から鑑真和尚ゆかりの法衣を頂かれました。鑑真和尚は戒を授けることのできる僧がいなかつた日本に渡されました。唐招提寺で多くの僧に戒を受けられました。これは同じく、戒を授けることのできる僧がないといわれた尾張国へ天瑞和尚が足を向けられたことと重なる

ような気がします。八事文庫には、天瑞和尚から戒を受けられた僧の文書が何通か残されています。

今回の「襖絵一部特別公開」では、天瑞和尚一代記の二場面を展示いたします。

静かな松林の中にただ一人座しておられる三十歳を少し過ぎたばかりの

若き僧。山田大作先生の心から生まれた天瑞和尚

の姿です。物静かな瞳から伝わる天瑞和尚の心を

三百年の時とともに受け止めたいと思います。

伽藍の前で、若き学僧たちに語られているのは、

真言律宗の真髓にかかる言葉以外には考えられません。天瑞和尚から最初に戒を受けられ、跡を

継いだ二世・忍海和尚の若き姿もきっとあります。

思います。ここで戒を受けられた学僧たちは、

尾張・美濃などの寺で天瑞和尚の教えを伝え、寺に

残りさらに修行を積み「学問の寺」興正寺を今日まで守り抜いてきました。



天瑞和尚入山之図

### 襖絵一部特別公開

もう完成まで待てません。

そこで、襖の竹林に続く興正寺の竹林との一体感の味わいと、

平成生まれの天瑞和尚に会っていただく機会を「襖絵一部特別公開」として設けました。うれ

しいことに、山田大作先生に

「平成の天瑞和尚生みの親」

として、画家として受け止められた天瑞和尚について語つて

いただける機会もいただけま

した。襖絵は何度でもご覧

ただけますが、先生の生の

言葉が聞けるのはこの機会しか

ないと思います。楽しみの日

は近づいています。(小出)

## 襖絵一部特別公開

会期 9月23日(火)~26日(金)

会場 竹翠亭 拝観料 500円(呈茶付)

### ◆山田大作先生講演会◆

日時 9月23日(火)14時~15時(呈茶含)

会場 大書院

参加費 お一人様1,000円(呈茶付)

定員 20名(要申込)

\*はがきに住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記まで送付ください。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

【宛先】

〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町78  
「山田大作先生講演会」係

### 襖絵保存・制作事業 志納者ご芳名

### 興正寺竹翠亭襖絵保存・制作事業への御志納お願ひ

竹翠亭襖絵保存・制作事業御志納  
御志納 一口 金壱千円より  
大口御志納 一口 金拾万円より

永井正子 井上昌隆 吉田昌子 立石圭以子  
森下智 匿名 近藤いせ子

自平成二十六年七月十一日  
至平成二十六年八月十日

御志納を賜り、心より感謝申し上げます。

お問い合わせ先

八事山興正寺襖絵保存・制作担当  
寺務課 川村・山本

TEL ○ 五一一一八三二一八〇一

八  
事  
山

## ◇観音堂九万九千日 8月10日(日)

その日にお参りをすれば、功德が九万九千日分にも広がるとされる「九万九千日法会」が、去る8月10日(日)に興正寺西山観音堂で厳修されました。台風の影響であいにくの天候の中、多くの方にお参りいただきました。



## ◇布薩会 8月16日(土)

興正寺最古の法会である布薩会が、去る8月16日(土)9時より本堂にて厳修されました。参拝者は戒師より菩薩十善戒を授かり、仏教の戒律を守っているか、自己の行いを反省しました。



## ◇盂蘭盆会

盂蘭盆会諸法会が興正寺にて厳修されました。8月10日(日)からはじまった合同供養会期間中はご先祖さまのご供養にと、大変多くの方が参拝に訪れました。8月15日にはお盆にお迎えした御魂を再び彼岸にお送りする「精靈流し」が興正寺境内にて行われました。また同日は五重塔前にて盆踊り大会も開催され、多くの参加者で賑わいました。



8月10日(日)～15日(金) 盆合同供養会



8月12日(火) 初盆合同供養会



8月15日(金)  
佐羅陀淨苑慰靈法会



8月15日(金) 霊龕堂慰靈法会



8月3日(日)・  
16日(土)  
盆施餓鬼会



8月15日(金)  
精靈流し・盆踊り



## ◇大絶紹之儀 7月27日(日)

善之綱をおつくりする大絶紹之儀が行われました。当日は奉納白布御志納者約160名が参加し、僧侶が鳴らす太鼓の音と共に力を合わせて大綱を縋り上げました。

來たる9月6日・平成大仏鎮座式では、この善之綱を以って大仏さまをお曳き申し上げます。



## ◇お寺でお泊り会

**7月24日(木)～25日(金)**

**8月24日(日)～25日(月)**

小学生を対象にしたお寺でお泊り会が7月・8月それぞれ行われました。子どもたちは流しそうめんや花火、肝試しなどのレクリエーションを楽しむと同時に、作務や朝のおつとめにも参加しお寺でしか体験できない夏の時間を過ごしました。

来年もご参加をお待ちしております。



## ◇地蔵盆 8月24日(日)

興正寺納骨堂の一つ、佐羅陀淨苑の本尊・地蔵菩薩の縁日に合わせ地蔵盆が厳修されました。佐羅陀淨苑に納骨されている壇信徒の方々が参拝に訪れ、お盆の縛めくくりとして改めて亡き方々の冥福をお祈りしました。



また、縁日に  
おいては参拝者  
全員でおつとめを  
行った後、菓子まきと  
僧侶による紙芝居「切られ  
地蔵」を楽しみました。

歳時記

## ◇施設訪問法話 8月5日(火)

### メディカルホームくらら八事

8月前半のご訪問でしたので、お盆の話を小松僧侶よりさせていただきました。2回目の訪問でしたので、参加される方もリラックスしてお話を聞いている姿が印象的でした。今後とも末永い御付き合いをさせていただければと思います。



# 一日修養会ダイジエスト

聖者の行進⑤浄土真宗の開祖「親鸞」担当僧侶 桜田英伸



宗親鸞(1173-1263)胸を張り、鋭い目で前を見つめる厳しい姿。明治天皇より「見真大師」という大師号が下賜されている。

果たせるかな、ついに二十九歳の親鸞はすべてを投げ打って法然上人のもとへ入門します。比叡山での「官僧」という保証された身分(=それまでの人生、命)を捨てて、「遁世僧」というただ極楽への往生を願う生き方を選んだのでした。

当時、法然教団は

まさに拡充期でした。大勢の優秀な弟子に囲まれ、僧俗問わず誰にでも平等に阿弥陀仏の本願の救い)を説く六九歳の法然上人の目に、親鸞聖人はどのように映ったのでしょうか。命がけの危うさ、若さゆえの悩みに満ちた、才氣溢れる学僧といったところでしょうか。入門して三年目で、法然の「口伝」ともいうべき著作『選択本願念佛集』の書写を許されているところからしても、一目置かれる存在であつたことには間違いない

「善人なおもて往生をとぐ。いわんや悪人をや、と善き人のたまえり」=親鸞聖人にとつて、四〇歳も年上の善き人法然上人との出会いは、その後の人生すべてを変えてもいいくらい、いや実際に変えてしまったほどの、衝撃的な出会いでした。

日野氏という下級貴族の長男として生まれた松若麿(親鸞の幼名)が、九歳という若さで比叡山へと登らねばならなかつた事実は(しかも兄弟すべても出家している)、ただならぬ政争の末路であつたのかもしません(親鸞の父・日野有範の兄は平家の反旗を翻した以仁王の教師でした。当時榮華を極めた平清盛公の逆鱗は、親類縁者にも火の粉が及んだことでしょう)。

生来、学識の高かつた親鸞は、比叡山阿闍梨の慈円に仕えながら、様々な経験を積んだことでしょう。そのなかでも、特記すべきは聖徳太子への信仰でした。一九歳の時、河内國の磯長太子廟・飯福寺でのお籠の時に得た夢告こそは、後の人生を決定づけたものかもしれません。曰く「汝の命は一〇年余り、阿弥陀仏の極楽淨土へと往生できるであろう」と(『親鸞聖人正明伝』による)。この一〇年後、二十九歳のとき親鸞は京都の街中にある聖徳太子ゆかりの六角堂に一〇〇日間の参籠を行います。自らの煩惱に悩む親鸞は、太子の化身・救世観音から女犯偈を授かって、深い苦惱から解放され救いを得たといわれますが、もしかするとそれ以上に、一種の死の予言から逃れたかったのかもしれません。

法然教団で六年間、多くの弟子たちと共に念佛に励みますが、「建永の法難(念佛者の行き過ぎた活躍が時の天皇の怒りを買ひ、念佛の停止と法然および幾人の門人が処罰された事件)」によって、師・法然と永遠に別れてしまします。還俗させられ(僧ではなく俗人にさせられること)、土佐へ配流となつた法然と同様に過ごした京都では、住居を転々としながらひつそりと過ごされます。越後時代から書き連ねて来た自著『教行信證』に、繰り返し繰り返し手を加えながら。九〇歳で極楽に往生されるときも、恵信尼との娘・覺信尼ほか、数名の弟子に見守られたひつそりとしたものでした。

関東での勢力的な布教活動から一転、六五歳から過ごした京都では、住居を転々としながらひつそりと過ごされます。越後時代から書き連ねて来た自著『教行信證』に、繰り返し繰り返し手を加えながら。九〇歳で極楽に往生されるときも、恵信尼との娘・覺信尼ほか、数名の弟子に見守られたひつそりとしたものでした。

## 一日修養会

【法話・聖者の行進  
(座禅・曹洞宗の開祖「道元」)・写経】  
9月14日(日)10時~14時頃

今回は「聖者の行進」と銘打って、各宗派を開かれた祖師や高僧のお話。境内の庭園を眺めながらお料理もお楽しみいただけます。

支具料:2,000円(昼食付)  
(社の響会員1,000円)

定員:66名(要予約)申込締め切り:9月12日(金)  
お問い合わせ・お申込みは、光明殿1F 事務局まで  
0120-8510-78



## お坊さんと行く興正寺団体参拝

### 平成26年度団体参拝予定

#### ◆虚空蔵菩薩めぐり〈全3回〉

第2回 9月29日(月)、30日(火) 1泊2日 申込締切9月5日  
広島県宮島 嶽島神社 弥山本堂 支具料35,000円

弥山本堂にある求聞持堂は弘法大師が百日間の求聞持法を修した場所で、真言密教の日本三大道場に数えられています。また国重要文化財である、平宗盛が寄進した大梵鐘が安置されています。日本屈指の名社である嶽島神社は世界文化遺産に指定されており、海に浮かぶ能舞台や大鳥居などたくさんの見所があります。

第3回 10月14日(火) 三重県 金剛證寺 伊勢神宮

伊勢神宮では昨年、20年に一度行われる、第62回目の神官式年遷宮を迎えるました。金剛證寺のご本尊は日本三体虚空蔵菩薩の一つとして数えられています。こちらも20年に一度、神官式年遷宮の翌年に御開帳されるので、今年がその年になります。貴重な機会ですので是非ご参加ください。

興正寺団体参拝は當寺僧侶が随行し、一緒にお経をつとめ、バス中では法話もございます。どなたでもお気軽にご参加いただけます。お寺やお坊さんを感じていただき、仏縁を深めていただければ幸いです。

#### ◆總本山・大本山めぐり〈全2回〉

第2回 静岡 11月20日(木)  
臨済宗方広寺派大本山 方広寺 遠州古刹めぐり

- 日程、費用等は変更となる場合がございます。  
予めご了承ください。
- 募集定員に満たない場合は中止とさせていただきます。
- 各参拝の朱印等をご希望の場合は別途費用が必要です。
- 申込受付開始は光明殿にてお知らせします。
- 締め切り 各参拝日の7日前(1泊2日のツアー除く)
- 申込方法 ご来寺またはお電話にて
- 支払方法 ご来寺またはお振込にて前払い  
お問い合わせ 光明殿 興正寺事務局 0120-8510-78

### 一泊修行体験合宿(上級者向け)

参加条件:過去一泊修行体験合宿に参加された方、

信心強固な方が対象となります。

詳細は一泊修行体験担当(竹内)までお問合せください。

9月29日(月)~30日(火)

日頃から、八事山の整備事業にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

さあ！9月です。大仏さまです！八事のお山も新たな歴史の始まりを迎えました。

8月は暑さや台風で桜や花桃、ドングリなどの木に影響が出たようです。実りの季節はもう少し先、今年はちょっと心配です。

さて、花は少々寂しかった8月ですが、興正寺光明殿の周りのお花をご覧いただけたでしょうか？



△光明殿前の花の寄せ植え

の緑の指の持ち主であり、団子を焼かせたら右に出るものはないHさんが丹精を込めたもの。

喫茶「八琴庵」や永代供養受付へ来られる皆さまを、花でお出迎えしようと育ててくれました。

また、喫茶の窓に、今年初のお試しでグリーンカーテンを育ててみました。…と言っても実はこれ「ガガイモ」という、いわゆる「雑草」なんです。

八事の山の  
昨日  
今日  
あした



△グリーンカーテン

秋の到来を待ちながら、八事山もそろそろ衣替えの準備に入ります。紅葉が今から楽しみ。楽しみ。

(井上)



△みそはぎと蝶

みなぎる生命力で逞しく伸びる蔓草で、実は食べられるし薬にもなる有用な植物です。暑さ対策に少しは効果があったでしょうか。

最後の花はビオトープに咲いていた「みそはぎ」です。このきれいなピンクの花はお盆の飾りに使われて、「精靈花」の別名を持っているのです。7月頭から咲き始め、暑さにめげず、お盆の最中までしっかり咲いてくれました。

# 竹翠通心

## 普門園のご案内

- 拝観時間 10時～16時
- 拝観料 500円(お抹茶付)

## 月釜のご案内

9月12日(金) 宗徳流  
名古屋支部

一席二服  
1,500円

## 遊翠の心

- 日程 <写経> 9月 2日(火) 9月10日(水)  
10月 1日(水) 10月14日(火) 10月29日(水)
- <茶の湯> 9月22日(月) 10月21日(火)
- <きもの装い講座>  
9月3日(水) 10月8日(水)
- お手持ちのきものを楽しく装うための教室です

- 時間 午前10時～午後2時～各2時間
- 定員 各回10名(要予約)
- 料金 1,000円(お抹茶付)  
きもの装い講座のみ2,000円
- 各教室についての詳細、  
ご予約は竹翠亭までお問い合わせ  
ください

## なんりょう 南鎌 秋草水次葉缶

葉缶といえば、地味で目立たない存在ですが、茶道で使われる水次葉缶は置いておくだけでも絵になり、骨董としての価値もあります。手指に水を補給するために使い、お茶を点てる上での主役ではありませんが、形も大きいので、ほかの道具との調和を考えてこれから季節に使いたい美しい文様の葉缶です。また、南鎌というのは、中国の銀の生産地が南鎌ということから、銀のことをそう呼びます。

## 今月のご紹介



## 喫茶 八琴庵



残暑厳しい毎日ではありますが、皆さまいかがおすごしでしょうか。

徐々に秋の気配が感じ取れるようになってまいりました。

皆さま「夏バテ」気味ではありませんか?

今月のご紹介は・・・

インターネットでも紹介され「飲む点滴」とも言われております  
「甘酒」のご紹介です。

甘酒には運動ダイエットに欠かせないアミノ酸がバランスよく含まれ、  
また日本のヨーグルトと言われるように食物繊維・オリゴ糖が  
たっぷり含まれております。

甘酒には人間が必要とするブドウ糖が20%以上含まれており、  
総合ビタミン・ミネラルドリンクと言える飲み物です。

まさにこれは飲む点滴!!

夏の暑さで体力が落ち気味の皆さま、是非おためしください。

営業時間は午前7時から午後5時です。(オーダーストップ午後4時30分)

## はじめの一っぽ

こんにちは。

今月もはじめの一っぽをご覧いただきありがとうございます。

猛暑がやっと落ち着き、風の中に少しずつ秋を感じるようになりました。

秋は、興正寺の五重塔の周りの木々の紅葉がとてもきれいですし、

今年もこれから秋が深まるのが楽しみですね。

さて、今回はそんな秋におススメの「MAEDORI PHOTO」をご紹介いたします。

te-raの前撮りは、フォトスタイルリストと相談し

興正寺や決定したロケ地、

フレンチクラシックなサロンの両方で撮影していただけます。

1日1組限定で満足いくまでゆっくり撮影が楽しめます。

お問い合わせは…te-ra BRIDES COLLECTIONまで!

TEL:052-861-0333

洋書から帯び出して見えた  
どこかストーリー色濃く写真  
これが興正寺の森の中で  
撮影したショットです。

たまにかわいがられる  
お嬢様の首筋の  
お扇や扇面や竹林など…  
季節の森をどこか懐かしい  
自然の写真を  
お手にいれます。

アーティスト  
お嬢のスナップショット  
個性的なポートレートまで  
色々のバランスを考えながら  
お出でやロデュース。  
またte-ra BRIDES COLLECTIONの  
フォトスタイルリストが  
打ち合わせへ今日まで  
お二人のお手伝いを致します。

## 平成大改修 志納ご芳名

(金、壱拾万円) 小中庸禎 松居正治  
 (金、壱万円) 永田米金  
 (金、壱千円) 中島幸弘

### 奉納白布奉納者

(金、壱万円) 浅井貴美子 那須洋子 水井正子  
 PM Group 株式会社代表取締役 今山貴章  
 株式会社 ty 代表取締役 今山貴章  
 今山マリア 今山ディラ  
 近藤志貴子 伊藤文恵 森本  
 矢島隆子 岩見典江 平岡精  
 河合雄太 岡 巴江 岡 さと  
 小出くに子 伊藤ツヨ 岩月 譲  
 堀江あい子 広瀬利光 包坂健二  
 河合幸恵 孟ン章

### 百味供法要

### 「百味の膳」志納ご芳名

口) 内川登喜子

口) 森永和子

〔五〕  
 口) 佐藤道代 河合三子代 河合由紀男 河合高彦  
 河合雄三 紀平鉄美 増元美代子 山平つねよ  
 杉山弘子 土方富雄 土方佐智子 木全輝和・真理子  
 小島保俊 高橋定代 高橋道代 織田秀孝・光枝  
 安達英子 柴田和子 春日美千子 石原弘子  
 渡邊清子 近藤金次 近藤千津子 岩田千鶴子  
 伊藤幸信 小澤麗子 川崎力川崎陽子 川崎志緒子  
 川崎コウ 中島幸弘 梅村清則 重村ハッエ 稲谷博一  
 小崎謙一 小崎克子 小崎元貴 小崎乃絵  
 河村糸子

### 修復瓦

### 志納ご芳名

(金、参千円) 松井まつ子  
 (金、壱千円) 石原英子 野村光彦 ウィットビ  
 鈴木久子 鈴木ひとみ 馬島文代  
 澤田知子 倉橋知恵子 相川妙子  
 小川勝己 永井正子 西嘉妙子 子代

飯田和子 みんななかよし 松永幸栄子  
 安東美由貴 関岡ひさ子

自 平成二十六年 七月十一日  
 至 平成二十六年 八月六日  
 ありがとうございました。心より感謝申し上げます。合掌

(種不同 敬称略)

## 各講座案内

～どなたでも参加出来ます～



### ○学ぶ

#### 《仏教絵解説講座》講師 樹田英伸

9月18日 午前10時より 普照殿 華宮

「三七日・血の池地獄」「四七日・針の山」※プロジェクター使用

#### 《仏教入門講座》講師 森田泰澄

9月11日 午後2時より 普照殿 華宮

難しい仏教用語をなるべく使わずに、お経を中心勉強します。  
 脱線話が多いので、気楽に参加出来ます。

### ○仏讃歌

#### 《ご詠歌上級者》講師 鈴村隆弘、光明殿 会食室

9月18日・29日 午後1時半より

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

#### 《ご詠歌初級者》講師 鈴村智弘 光明殿 会食室

9月14日・21日・28日 午後2時より

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。

### ○体験する

#### 《阿息観》

講師 杉浦宣秀

9月10日・30日 午後2時より 普照殿

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっています。誰でも心地よくリラックスできますよ!

#### 《写経・写仏》

光明殿 会食室

法話を交えながら、写経・写仏を実習します。

※日程・会場は変更する場合がございます。

事前にお電話でご確認ください。

### 火葬場での弔い

- 火葬場へ持参するもの

火葬場に着いたらまず、火葬許可証を提出します。

- 納めの式

棺は火葬場の係員の手でかまどの前に安置されます。小机が置かれたら、その上に、持ってきた位牌と遺影を飾ります。

この祭壇の前で納めの式を行います。僧侶が同伴している場合は、読経をしてもらい、一同が順に焼香をいたします。地方によっては作法が異なります。火葬中は控室などで待機します。時間は約1時間～1時間半程度となります。

- 「骨あげ」をする

家族、親族らで遺骨を骨壺に拾い上げる儀式が「骨あげ」です。

竹箸か、竹と木を1本ずつ組み合わせた箸で行うのが普通で、二人一組で一つの骨を拾い、2、3片拾つて次の組と交代します。骨は下半身から上半身へ順に拾い、最後に、舍利と呼ばれる喉仏を、いちばん血縁の深い二人が拾います。骨あげが終わると、係員が骨壺を白木の箱に納め、白い布で包んでくれますから、喪主はそれを胸に抱えて持ち、帰路に就きます。

- 分骨とは

分骨とは、菩提寺や先祖代々の墓とは別のところに納骨埋葬することです。

これは釈迦の遺骨が分けられて、各地に祀られたことが起源となっています。

分骨が行われるのは、各宗派の本山に納めたり、菩提寺が遠方にあるために近くで埋葬したいときなどに行われます。

### お坊さんが教えるこ葬儀コラム⑨

### 火葬場 西山 海良

# 縁日さんぽ 其の六

毎月28日 東山精舎

不動護摩堂・不動明王



諸堂縁日  
5日 大隨求明王(西山本堂)  
8日 大日如来(大日堂)  
13日 虚空藏菩薩(能満堂)  
15日 阿彌陀如来(東山本堂)  
18日 觀世音菩薩(觀音堂)  
21日 弘法大師(弘法堂)  
24日 地藏菩薩(能満堂)  
28日 不動明王(不動護摩堂)



参拝者次第は6月に新しくなりました。縁日では一冊ずつお貸しますよ。

お経が初めてでも大丈夫です！

縁日では参拝者のみなさまと一緒におつとめをしながら、護摩を修法します。

不動護摩堂のおつとめは、今年の六月に次第が新しくなりました。「仏説聖不動經」「南無三十六童子」などなかなか耳にしないお経もありますが、

ゆっくりとお唱えしておりますので、初めてでも大丈夫

で、お気軽にお越しくださいね。

小松僧侶、ありがとうございました！

次回は毎月八日、大日如来さまの御縁日です。お楽しみに！



小松僧侶のお話は、分かりやすいと大人気！

不動明王の眷属  
※三十六童子

(神仏に従い働くもの)で、幼い子供の顔を模していることが多い。両脇にいらっしゃるのは矜羯羅童子と制多迦童子といいます。

不動明王は真言宗の教主・大日如来が姿を変えた仏さまで、魔を降して私たちを救済してくださいます。忿怒相(ふんぬそう)で、魔を絶ち人々の迷いを断ち切る「劍」と、煩惱から抜け出せない人々を縛り上げてでも救い出すための「縄」を持つ不動明王。一見恐ろしげな姿ですが、そのお心は人々を救済しようとする厳しくも深い慈悲と決意に満ちておられる、たいへん優しい仏さまなんですよ。

怖いお顔に、慈しみの心  
お坊さんに縁日の由来や仏様のことをお聞きする「縁日さんぽ」。今月は毎月二十八日、お不動さんの御縁日。教えてくれたのは、小松永明僧侶です。

護摩の火炎はお不動さんの智慧  
護摩は古代インドの儀礼「ホーマ」を起源とする真言密教の秘法です。護摩壇にさまざまな供物と、私たちの煩惱を象徴する護摩木をくべて、不動明王に捧げます。燃えさかる火炎は不動明王の智慧そのものであり、煩惱を清らかに願いへと高めて成就させる力を持つといわれています。



●豆腐ハンバーグ ●甘い野菜のスープ ●シャキシャキ野菜の生春巻きサラダ  
●9月のマルシエお料理教室テーマ「晩夏の食べ方にについて」  
●豆腐ハンバーグ ●甘い野菜のスープ ●シャキシャキ野菜の生春巻きサラダ

要予約:〇五二一八三一一八〇一 (申し込み〆切:毎月十九日)  
定員:二十名 参加費:五百円 持ち物:エプロン・筆記用具

**9月5日(金) 10時30分より 大般若経転読祈祷会**



大般若経転読祈祷会では全600巻にも及ぶ大般若経を一巻一巻広げて流し読み、転読という特殊なお経の読み方をします。これによって清らかな“般若の風”が起り、全ての苦厄を消し去ると言われ、厄難消除・家内安全など諸願を祈願いたします。

## 觀音堂秘仏開扉

**西山觀音堂御本尊  
御開帳特別祈願会**

日時 十月五日(日)  
十三日(月・祝)  
開扉法要 午前九時より  
場所 西山觀音堂

ご祈祷をお申込みされる方は当日、御祈祷用紙をお持ちになって西山觀音堂へお越しください。ご不明な点は受付までお問合せください。

「隨求の悲願は、求める子を得せしめ、安産をもたらす」

## 大隨求明王の安産祈願

### 特別護摩祈祷厳修

戌の日 安産合同祈祷会(9月・10月)

9月12日(金)・24日(水)

10月6日(月)・18日(土)・30日(木)

14時より

西山本堂にて

祈祷料

5,000円



大隨求陀羅尼

腹帯加持の様子

古来より興正寺は安産の名刹として信仰されております。

現代、興正寺においても子宝・安産法薬として「大隨求陀羅尼」の御守をお持ちいただき、安産祈願を勧めております。

※腹帯にお名前をお書きしますので、事前のご予約  
(電話・来寺)をお願いいたします TEL.052-832-2801

## 七五三 身体健全祈禱

古来より「子どもは七歳までは神仏からの預りもの」として尊ばれ、ことに大切にされてきました。興正寺ではお子様の健やかな成長を願い、身体健全祈禱を厳修いたします。



平成26年11月15日(土)・16日(日) 12時～/13時～/14時～

○対象(平成26年度)

平成20年生まれ(七歳)、平成22年生まれ(五歳)、平成24年生まれ(三歳)  
※満年齢でも受付いたします。

※要予約:お申し込み時にお時間をご指定ください。

※11月中は個別祈祷を受付いたします。祈祷料:5,000円



**なごやの火祭り  
千燈供養会**

10月17日(金)、  
18日(土)、19日(日)  
連日17時30分頃より行列・稚児出発  
千燈灯明供養  
宝剣加持  
火生三昧



## 9月の行事カレンダー

普門園休園日 行事・挙式により終日拝観できません  
9月7日(日)・12日(金)・15日(月・祝)

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5 緑日	6
友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引
		▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 高野正清	▽遊翠の心 着物装い 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料2,000円		○大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り ○大般若經輪読祈禱会 10:30 本堂 ☆こども書道展 エスカレーター前回廊	○平成大仏入仏式 12:00 受付開始 13:00 入仏鎮座式 (綱曳き)
7	8 白露十五夜	9	10	11	12 戌の日	13 緑日
先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負
○平成大仏入仏式 10:00 入仏献茶式 11:00 百味供法要 ○大日如来縁日 12:30 大日堂 理趣分經祈禱	○平成大仏入仏式 10:00 見団子祈禱 11:00 入仏開眼式 18:30/20:00 観月会 ☆こども書道展 拝観料 無料 ☆大師展 普照殿ホール特設会場 拝観料 300円	▽阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	▽佛教入門講座 14:00 普照殿 森田泰澄	○安産合同祈禱会 14:00 本堂 ☆興正寺 月釜 宗徳流名古屋支部 一席二服1,500円	○虚空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 法話会 普照殿 10:00 諸堂干支参り	
14	15 敬老の日	16	17	18	19	20 彼岸入り
仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅
▽一日修養会 10:00 光明殿 要予約 ▽ご詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	○東山 奥之院縁日 13:00 奥の院 善之綱おくり			○觀世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱 法話 ▽仏教絵解き講座 10:00 普照殿 桜田英伸 ▽ご詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村隆弘		○特別永代祠堂法会 11:00 本堂 ○靈龕堂慰靈法会 14:00 普照殿・華宮 ○佐羅陀淨苑慰靈法会 15:00 本堂
21 マルシェ	22	23 秋分	24 戌の日	25	26 彼岸明け	27
大安	赤口	先勝	先負	仏滅	大安	赤口
彼岸合同供養会		永代納骨、墓地、靈龕堂・佐羅陀淨苑に納骨されている方は本堂へ 圓照堂に納骨されている方は圓照堂へ 詳細はp.5をご覧ください				
○興正寺マルシェ 露店アリ ○弘法大師縁日 読經 法話 10:30 弘法堂 ○月並御影供 14:00 本堂 ▽写經写仏講座 11:30 光明殿 ▽ご詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村智弘	▽遊翠の心 茶の湯 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円	○永代祠堂紹解法会 11:00 本堂 ○人形仏具慰靈法会 13:00 参道 ○土砂加持法会 14:00 本堂 ☆水墨画家 山田大作先生講演会 14:00 大書院 (定員有・要予約) 参加費1,000円	○地蔵菩薩縁日 13:00 能満堂 大数珠おくり・法話 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂			
					☆襖絵一部特別公開 竹翠亭 拝観料 500円(呈茶付)	
28	29	30				
先勝	友引	先負				
○不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱・法話 ▽ご詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	▽ご詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村隆弘	▽阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀				
	☆団体参拝 「虚空藏菩薩 めぐり(第2回) 広島・宮島」					
	☆一泊修行体験合宿 上級者編					